

全自動電気洗濯機 5.5kg / 7kg

家庭用 HYW-T55 / HYW-T70

保証書

この保証書は大切に保管してください。

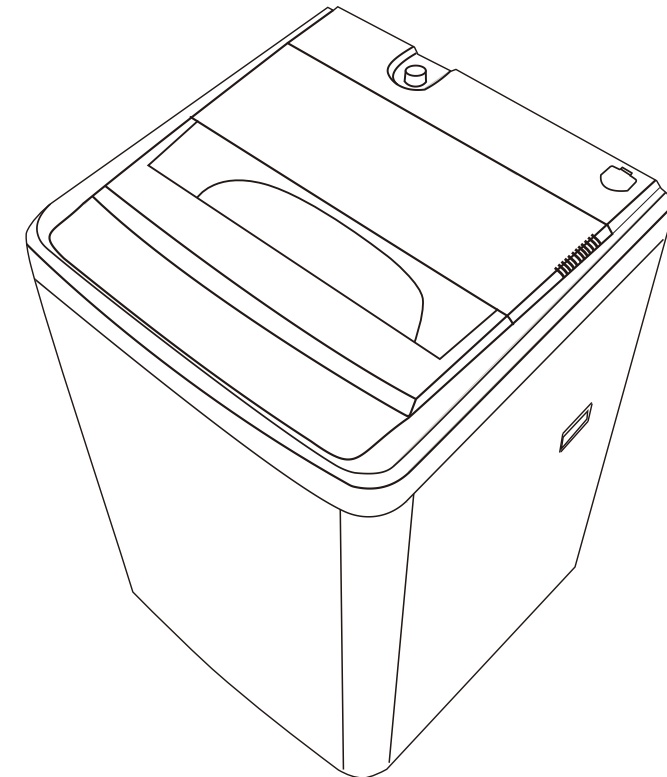
万一、適切なご使用と保管方法にもかかわらず、不慮の故障があった場合はお買い上げ時のレシートを添付してお買い求めいただいた店舗にお持ちいただくか、カスタマーサポートにお問い合わせください。弊社規定に基づき保証が受けられます。本製品は日本国内仕様です。日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

製品名：全自動電気洗濯機 5.5kg / 7.0kg
製品型番：HYW-T55 / HYW-T70
保証期間：お買い上げ日より1年

フリガナ			
お名前			
〒		TEL	
ご住所			
購入年月日	年	月	日
お買い上げ店名			

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき
正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保管していただき、
取扱いが不明な場合や、不具合が生じたときにお役立てください。



FOR USE IN
JAPAN ONLY
WARRANTY VOID IF USED OUTSIDE JAPAN

日本国内専用
日本国外では使用できません。
保証や修理の対象外となります。

も く じ

ご使用の前に

安全上のご注意	P3・4
各部のなまえ/付属品	P5
ふたロック(チャイルドロックの設定/解除)	P5
操作パネル部のはたらき	P6
洗濯の前に	P7・8
洗剤類の使いかた	P9・10
各コースの運転内容	P11・12

使いかた

おまかせで洗濯	P13
デリケートな衣類の洗濯	P14・15
毛布などの大物の洗濯	P16
風乾燥をする	P17
予約運転をする	P18
運転内容をお好みで変更する	P19

必要なとき

こんなときは	P20
お手入れ	P21・22
据え付け	P23~28
故障かな?と思ったら	P29~31
こんな表示がでたら	P32
製品仕様	P33
保証とアフターサービス	P34・35
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	P36・37
MEMO	P38
保証書	P40(裏表紙)

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に阻止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 死亡や重症を負うことが想定される内容です。

注意 傷害や物的損害の発生が想定される内容です。

■お守りいただく内容を次の表示で区分し、説明しています。

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

強制 必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

洗濯・脱水槽

- 幼児には洗濯・脱水槽をのぞかせない
- 本体の近くに台などを置かない
(洗濯・脱水槽内に落ちる、けがの原因)
- 回転中の洗濯・脱水槽内に手などを入れない
完全に止まるまでは、絶対に触らないでください。
(けがの原因) 特にお子さまにはご注意ください
- 引火物を入れない
灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールやそれらの付着した洗濯物を入れたり、近付けたりしないでください。(爆発・火災の原因)



本 体

- 操作部付近に磁石など磁気を帯びたものを近づけない
(上ぶたが開いた状態でも洗濯・脱水槽が回転する恐れ)
- 動かない・煙が出た・変な臭いや音がるなどの異常を感じたら、電源プラグをコンセントから抜き、すぐ販売店に点検・修理を依頼する(感電・漏電・ショートによる火災の原因)
- 排水ホースの取り付け時には、必ず手袋をする

電源プラグ・電源コード

- 電源コードや電源プラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
(感電・ショート・発火の原因)
- 傷付け・加工・破損・無理な曲げ・たばねる・引っ張る・ねじる・重いものをのせる・はさみ込むなどしない
(破損して、火災・感電の原因)
- めれた手で抜き差ししない
(感電の原因)

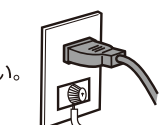


- 定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
(火災・感電の原因)



- 定期的に電源プラグのほこりなどをよく拭き取る
(ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因)
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
(感電・けがをする原因)

- アースを取り付ける
(故障や漏電のときに感電する原因)
必ず電気工事店や販売店に依頼してください。
工事費は本体価格には含まれません。



上ぶた

- ロックしている上ぶたを無理に開けない
(上ぶた・ロック機構の破損、けがの原因)
- 上ぶたの折れ曲がり近くに手を置いたまま、上ぶたを開閉しない
(手や指をはさみ、けがの原因)

その他

- お手入れなどで水をかけたり、浴室や風雨にさらされる場所に置かない
(感電・火災・故障の原因)



- 絶対に分解・修理・改造はしない
(火災・感電・けが・水もれの原因)
修理はお買い上げの販売店またはカスタマーサポートにお問い合わせください。こんな表示がでたら⇒P32
- 火気を近づけない
ローソク、タバコ、蚊取り線香などを近づけないでください。
(火災・変形の原因)
- ライター・携帯灰皿をポケットに入れたまま洗濯しない
(火災・変形の原因)

注意

据え付け



- 直射日光のあたる場所には置かない
(プラスチック部品の色や形が変わる原因)
- 冬期に凍結の恐れのある場所に置かない
- 上にのぼったり、物を置かない
(けがや感電の原因)
- さび・砂鉄の含まれる水は使わない
(井戸水・さびた給水管などの使用は水もれ・故障の原因)



確認すること



- 運転前は水栓を開き、水もれがないか確認する
(水もれの原因)
- 運転終了後は、必ず水栓を閉める
(水もれの原因)

洗濯物



- 足ふきマットなどの硬くて厚いもの、防水性のマット・シートや衣類などの水を通しにくいものは、洗い・すすぎ・脱水をしない

洗濯物の飛び出し、異常振動によるけが、本体・かべ・床などの破損、衣類の損傷、水もれ被害などの原因となります。

水を通しにくいものの例

オムツカバー・雨ガッパ・カーベット
ウインドブレーカー・サウナスーツ
ウエットスーツ・スキーウェア・寝袋
自転車用の雨具・防水シートなど



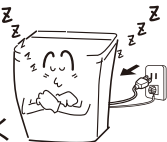
■防水性衣類の確認方法

衣類に口を当て、息を吹き付けて息が通らない場合は、防水性衣類です。

電源コード



- 電源コードを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
(感電・ショートして発火する原因)
 - 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)
- 万が一、電源コードにダメージが発生した場合、ただちにお買い上げの販売店またはカスタマーサポートにお問い合わせください。



運転中

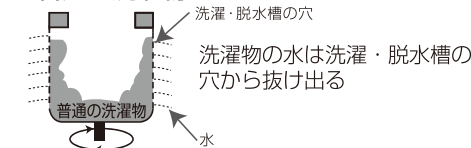


- 運転中、本体の下に手や足を入れない
(けがの原因)
- 50℃以上のお湯は使わない
(感電・漏電の原因)

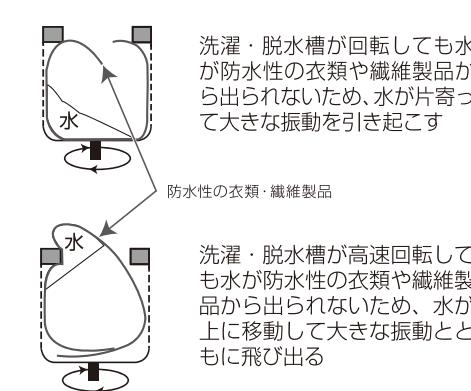


脱水のご注意

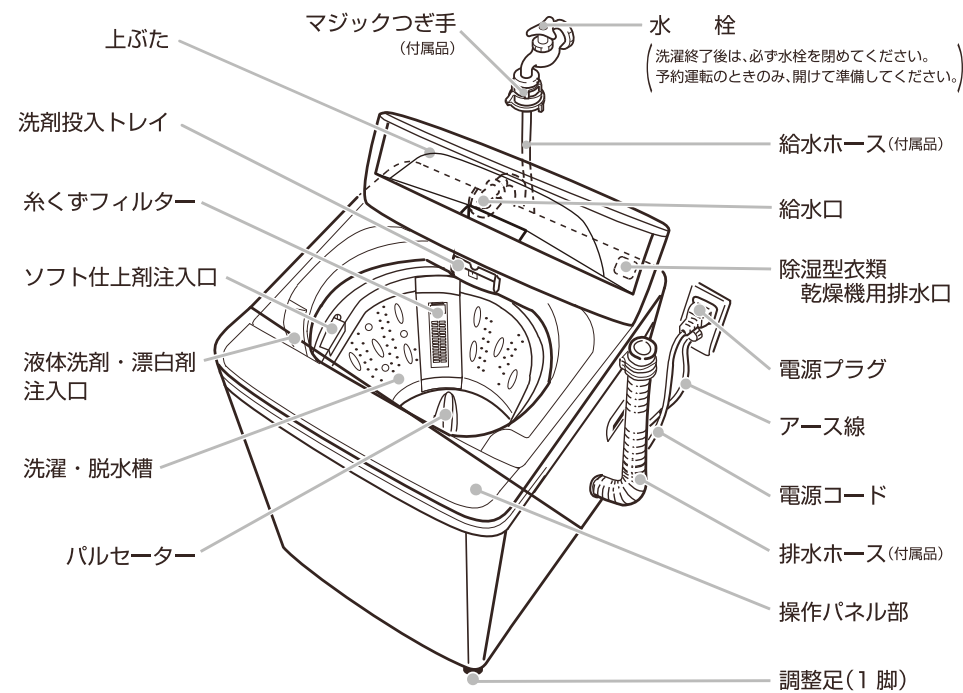
■普通の洗濯物



■防水性の衣類・繊維製品



各部のなまえ/付属品



付属品



ふたロック(チャイルドロックの設定/解除)

ふたロック

安全のため、洗い～運転終了まで上ぶたはロックされます。(ロック中は **ふたロック中(チャイルドロック)** が点灯します)

ふたロック中に上ぶたを開けたいとき

●運転中のとき

スタート一時停止 を押し、一時停止する ▶ **ふたロック中(チャイルドロック)** が消灯後、開けてください

●電源が入ってないとき(停電や電源プラグがコンセントから抜けたとき)

電源を「入」にする ▶ **ふたロック中(チャイルドロック)** が消灯後、開けてください

チャイルドロックの設定／解除

お子さまの安全のため、チャイルドロックを設定すると運転が終了しても上ぶたはロックされたままで開けられないようになります。一時停止や電源を入れ直してもロックは解除されません。

- 上ぶたを開けるためには、チャイルドロックを解除して、設定なしの状態にしてください。
- チャイルドロックの設定／解除は、電源「入」の状態いつでもできます。

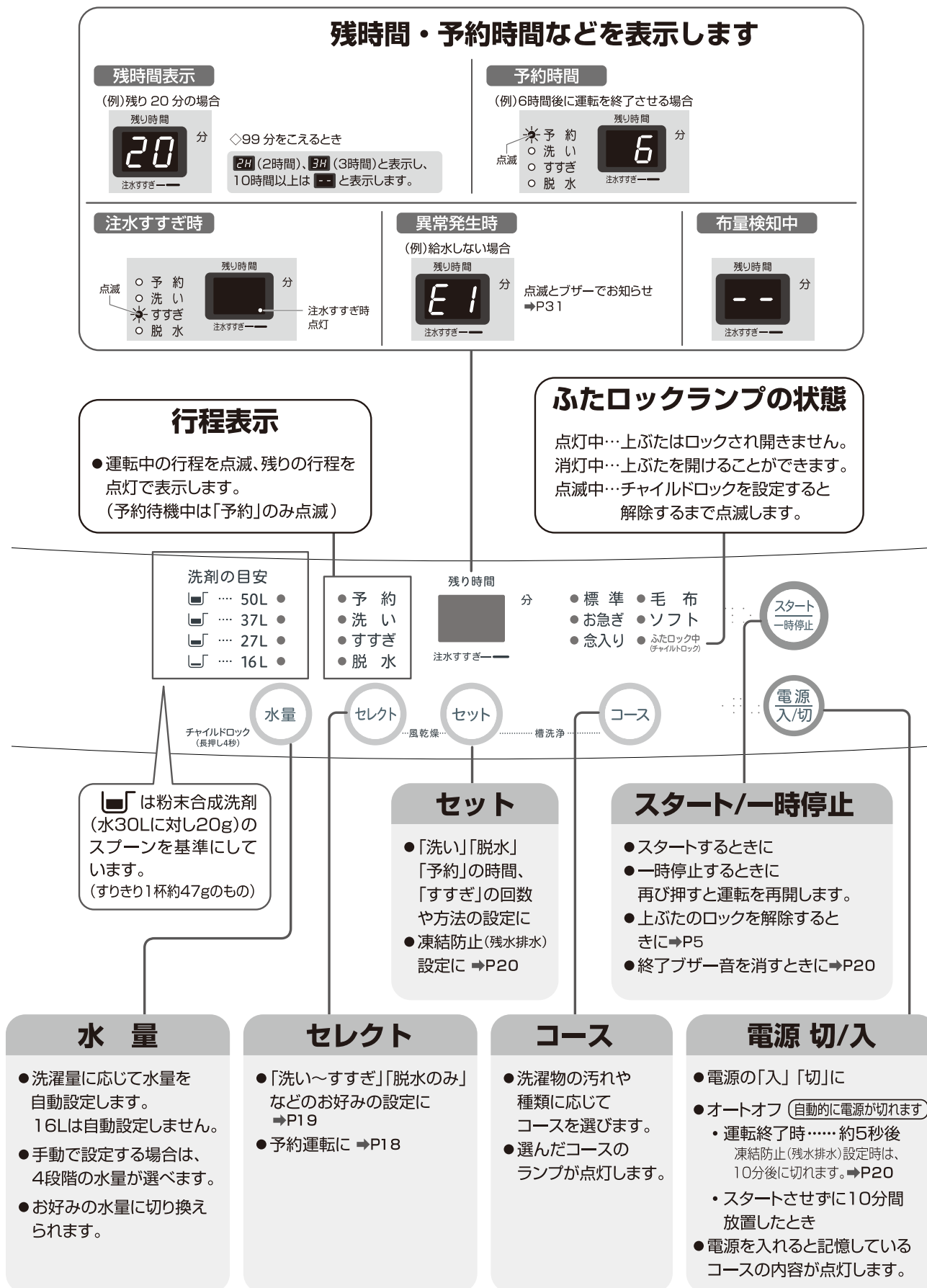
設定するとき

水量 を約 4 秒以上押し続ける▶「ピー」と鳴り、**ふたロック中(チャイルドロック)** が消灯または点灯から点滅に変わります。

解除するとき

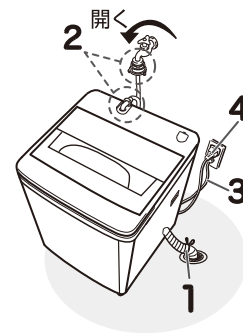
上記と同じように操作する▶「ビビッ」と鳴り、**ふたロック中(チャイルドロック)** が点滅から消灯または点灯にもどります。

操作パネル部のはたらき



洗濯の前に

本体の準備



- 排水ホースを排水口に差し込む
●排水ホースの抜けがないか確認してください。
- 給水ホースをつなぎ、水栓を開ける
●マジックつぎ手や給水ホースの接続部などから、水もれがないか確認してください。⇒P27~28
- アースを取り付ける ⇒P28
- 電源プラグをコンセントに差し込む

デリケートな衣類を守る 洗濯ネットの利用

- 洗濯ネットに入れるもの**
- 傷みやすい衣類
 - ・レースのついた衣類
 - ・ランジェリー
 - ・ナイロンストッキング
 - ・化繊のうす物 など
- ワイヤー入りのブラジャー**
- ⇒必ず市販のネット(細かい網目)に入れる
- ワイヤーが飛び出し、本体や他の洗濯物を傷める原因になります。
- ご注意**
- ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネットは、使わないでください。
 - ネットに衣類を詰め込みすぎないでください。

衣類の入れかた

- カーテンなどの大物・水に浮きやすいもの・厚手の衣類(ジーンズ・柔道着など)は、水に浮かないように均一によく押し込んでください。
- 洗濯物は入れすぎないでください。
- 水に浮きやすいものや大物から先に入れてください。

給水時に水が飛び散り床がぬれる・汚れがよく落ちない・脱水時にはみ出して衣類や本体が破損する原因になります。

汚れがひどいものは 前処理をする

部分洗い用洗剤や漂白剤を利用してください。

しみ汚れ

- 酸素系液体漂白剤やしみ汚れ用洗剤などを塗って洗う。
食べ物のしみの場合、付いたらすぐに汚れを取り除く。



えり・そで汚れ

- 洗剤液をつけ、ブラシなどで軽くたたいて落とす



泥や砂汚れ

- 石けんや専用洗剤をつけてもみ洗いをする。
- ブラシなどで落とす。
(本体の故障を防ぐため)



黒ずみや黄ばみを抑える

- 洗剤が少なかったり、柔軟剤を入れすぎると黒ずみや黄ばみの原因になります。
⇒適正な量をお使いください。

きれいに仕上げるために

糸くずが気になるもの⇒P31

- 気になる衣類は、分けて洗う。
- タオル・バスタオルとは、分けて洗う。
- 市販の糸くず防止ネットや細かい網目の洗濯ネットに入れて洗う。
- 裏返して洗う。

飾りのある衣類、起毛素材の衣類は裏返して洗う

- 衣類の傷み、毛玉を防止するためです。



飲料水、化粧水が付着した衣類を長時間放置しない

- まれにピンク色に変色することがあります。すぐ洗い流してください。

衣類の絵表示に従う



新しい色柄物・色落ちしやすいものは分け洗いをする

■色落ち確認方法

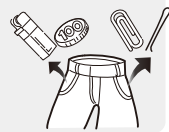
洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認する。



ポケットの中に何も入っていないことを確認する

カーテンフック、ワイシャツのプラスチッククリップなどは必ず取り外す

- 排水経路にゴミや異物が詰まったり、衣類や本体を傷め、異常音・故障の原因になります。



ひもは結ぶ、ボタンは留める ファスナーは閉める マジックテープは止める

- 衣類や本体を傷つける恐れがあるためです。



衣類の絵表示(例)



40℃以下で洗濯機で洗濯ができる



40℃以下で洗濯機の弱水流で洗濯ができる



40℃以下で弱い手洗いがよい



家庭での洗濯はできない



ドライクリーニングができる



漂白剤は使えない



アイロン仕上げ禁止



ハンガーなどに干すのがよい



平らなところに広げて干すのがよい



日陰のぬれ平干しがよい

洗剤類の使い方

●使用量

水量	洗濯量 【乾燥布】 (以下)	洗剤の 目安 水30L に対し→	合成洗剤					粉石けん	ソフト仕上剤		酸素系 液体漂白剤	
			粉末		液体							
			20g	25g	20mL	25mL	40mL (中性洗剤)					
55L	7.0kg	0.8杯	37g	46g	37mL	46mL	73mL	73g	13mL	37mL	37mL	73mL
52L	6.0kg	0.75杯	35g	43g	35mL	43mL	69mL	69g	12mL	35mL	35mL	69mL
50L	5.5kg	0.7杯	33g	42g	33mL	42mL	67mL	67g	11mL	33mL	33mL	67mL
42L	4.5kg	0.6杯	30g	38g	30mL	38mL	60mL	60g	10mL	30mL	30mL	60mL
37L	4.0kg	0.5杯	25g	31g	25mL	31mL	49mL	49g	8mL	25mL	25mL	49mL
27L	2.0kg	0.4杯	18g	23g	18mL	23mL	36mL	36g	6mL	18mL	18mL	36mL
16L	1.0kg	0.2杯	11g	13g	11mL	13mL	21mL	21g	4mL	11mL	11mL	21mL

- 洗剤の目安は、1杯が約47g(水30Lに対し20g)のスプーンに合わせています。洗剤によりスプーン1杯の洗剤量が異なります。お使いの洗剤容器の「使用量の目安」に従ってください。

- 洗剤は、洗濯量と汚れの程度に応じて入れてください。

- ・汚れが多い場合は、洗剤量を増やし、軽い汚れの場合は、上表の半分程度が適量です。
- ・洗剤は入れすぎないでください。すすぎが不十分になり衣類に残ります。特に液体洗剤は、軽い汚れでは泡立ちがよくなるので入れすぎにご注意ください。

軽い汚れとは、汗やほこりの様な脂分をほとんど含まない汚れのことです。

- 洗濯量は、JIS(日本産業規格)規定の布地を使用した場合のもので、洗濯物の厚さ・大きさ・種類により洗濯量が変わります。洗濯物の動きが悪いときは、洗濯量や水量(多めに)を調節してください。

洗濯物の重さの目安

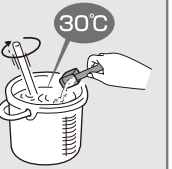
作業服上・下 (混紡)約800g	ジーンズ (綿)約600g	パジャマ上・下 (綿)約500g	バスタオル (綿)約300g	ワイシャツ (混紡)約200g	アンダーシャツ (綿)約130g	ブリーフ (綿)約50g	くつ下 (混紡)約50g

粉石けん 溶け残りを防ぐため、あらかじめ溶かしてください。

- 1 水栓を開け、電源を入れ、**コース**で「標準」を選ぶ
- 2 **水量**を16Lに、**セレクト**と**セット**で「洗い3分」に設定し、**スタート一時停止**を押す お好み設定⇒P19
- 3 給水が止まったら、粉石けんを洗濯・脱水槽に入れ、上ぶたを開けて洗剤を溶かす運転をする
- 4 電源を入れ直し、洗濯物を入れて希望のコースと水量を設定する
- 5 **スタート一時停止**を押し、上ぶたを閉める

■溶けにくい場合

- 1 容器に約30℃のぬるま湯(約5L)を入れる
- 2 十分かき回しながら、粉石けんを少しずつ入れる
- 3 固まったり、粒が残らないようによくかきまぜ、洗濯・脱水槽に入れる
- 4 洗濯物を入れ、水栓を開け、電源を入れて希望のコースと水量を設定する
- 5 **スタート一時停止**を押し、上ぶたを閉める



- お願い**
- 粉石けんは、すすぎが不十分ですと洗濯物に残り、黄ばみや臭いの原因になります。すすぎ回数を増やし、十分にすすいでください。
 - 使用量が多すぎたり、水温が低いと完全に溶けずに衣類に残ったり、ホースや槽内に残った粉石けんが浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
 - 予約運転をするときは、粉石けんを使用しないでください。(固まるおそれがあります)

液体洗剤・液体漂白剤

洗いの給水が始まってから、入れてください。

液体洗剤

泡立ちの少ない洗剤をお使いください。

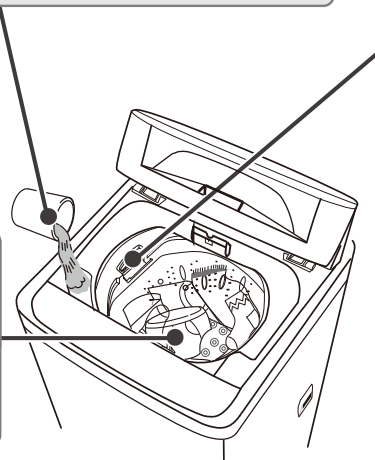
液体漂白剤

- 色柄物には専用の漂白剤を使用してください。
- 塩素系の漂白剤を直接洗濯・脱水槽に入れたり、洗濯物にかけないでください。
(変色・布破れの原因)

また、予約運転時には使わないでください。

粉末洗剤
粉末漂白剤

洗濯・脱水槽に
直接入れる



ソフト仕上剤

洗濯量に合わせて、洗濯前に入れてください。
(最終のすすぎで自動的に投入されます)

1 ソフト仕上剤注入口のカバーに
指をかけて開ける

2 ソフト仕上剤を入れる

- 濃縮タイプは、2 倍の水でうすめ、よく混ぜてから入れてください。
(固まる恐れ)
- 入れにくい位置にあるときは、洗濯・脱水槽を手で右方向(時計回り)に回してください。重く感じることもありますが右方向へ回すと位置は変わります。
(左方向には回りません)

3 カバーを閉める

- 開けたまま運転すると給水時に水が入り、ソフト仕上剤が流れ出る場合があります。

●ソフト仕上剤は、入れすぎないでください。
(衣類の黒ずみの原因)

●脱水中に一時停止しないでください。ソフト仕上剤の投入時期が早まり、有効にはたらかません。

●ソフト仕上剤を入れた後、長時間(12 時間以上) 放置しないでください。固まる場合があります。

のりづけ

洗濯できる量 1.5 kg 以下

●使用できるのり

洗濯機用の化学合成のり(酢酸ビニール系)

- 上記以外のものは、故障の原因になる恐れがあるので使わないでください。

お願い

- のりづけした洗濯物は、衣類乾燥機で乾かさないでください。(乾燥機フィルターの目詰まりの原因)
- 糸くずフィルターにたまった糸くずを取り除いてください。のりで固まって取れにくくなります。

のりづけ後は、洗濯・脱水槽を洗ってください。
のりが残っていると、故障の原因になります。

1 洗濯物を取り出した後、

コース で「標準」を選び、水量 を最大水量に、セレクト と セット で「洗い6分」、「脱水1分」に設定する お好み設定 ➡P19

2 スタート一時停止 を押し、上ぶたを閉める

各コースの運転内容

5.5kg HYW-T55

は、標準時間を表しています。

コース	水 量	洗 い	すすぎ	脱 水	所要時間
標 準	16L~50L ●27L~50Lは三段階自動設定 ●16Lは手動	10分 1~20分	ためすすぎ 2回	5分 1~9分	41~48分
念入り		12分 1~20分	注水すすぎ 2回	8分 1~9分	44~51分
お急ぎ	●37L~50Lは二段階自動設定	6分 1~20分	注水すすぎ 1回	5分 1~9分	26分
	27Lは手動または自動設定 16Lは手動 設定	3分 1~20分	注水すすぎ 1回	2分 1~9分	10分
ソフト	37L(自動設定水量) 50~27Lに切り換え可	6分 1~20分	ためすすぎ 2回	2分 1~3分	31分
毛 布	50L(自動設定水量) 37Lに切り換え可	12分 1~20分	注水すすぎ 2回	8分 1~9分	49分
槽洗浄	50L(自動設定水量)	1時間25分	注水すすぎ 1回	3分	1時間45分
風乾燥	—	—	—	—	3時間

7kg HYW-T70

コース	水 量	洗 い	すすぎ	脱 水	所要時間
標 準	16L~55L ●27L~55Lは三段階自動設定 ●16Lは手動	10分 1~20分	ためすすぎ 2回	5分 1~9分	41~48分
念入り		12分 1~20分	注水すすぎ 2回	8分 1~9分	44~51分
お急ぎ	●37L~55Lは二段階自動設定	6分 1~20分	注水すすぎ 1回	5分 1~9分	26分
	27Lは手動または自動設定 16Lは手動 設定	3分 1~20分	注水すすぎ 1回	2分 1~9分	10分
ソフト	37L(自動設定水量) 55~27Lに切り換え可	6分 1~20分	ためすすぎ 2回	2分 1~3分	31分
毛 布	55L(自動設定水量) 37Lに切り換え可	12分 1~20分	注水すすぎ 2回	8分 1~9分	49分
槽洗浄	55L(自動設定水量)	1時間25分	注水すすぎ 1回	3分	1時間45分
風乾燥	—	—	—	—	3時間

お知らせ

- 所要時間は、水道水圧・排水条件により変わります。(給水量が毎分 15L のときの目安)
- 洗濯・脱水槽内に初めから水があるとき・水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わることがあります。

すすぎについて

●ためすすぎ

設定水量まで給水後、水をためてすすぐ



●注水すすぎ

設定水量まで給水後、注水しながらすすぐ



布量の検知（洗濯量の計測）

スタート一時停止 スタートすると、自動的に洗濯量を計測し、水量を表示します。

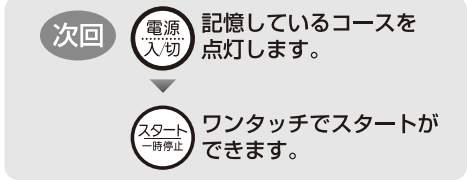
水のない状態で、パルセーターが回転して布量検知をします。水量を参考に洗剤を入れてください。

「標準」「お急ぎ」「念入り」コースで行います。

- 洗濯物がぬれていたり、初めから洗濯・脱水槽に水が入っている場合
→布量を重めに判定します。
- 水が底から約10cm以上入っている場合や「すすぎ」からスタートした場合
→布量検知をしないで、最大水量に設定されます。洗濯量に応じた水量を設定してください。
- 水量16Lは、自動設定されません。

記憶機能

「標準」「念入り」コースは運転したコースを自動的に記憶します。（スタートから約30秒後に記憶）



- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いた場合も記憶しています（10分間「お急ぎ」コースは記憶しません）。

環境に配慮した使いかた

■標準コース・給水量毎分15L・水量45Lの場合と比較

水

●風呂水を使う

洗いの水が約45L節水できます。

●洗濯液を2度使う →P20

コース運転を2回するの比べ、約37L節水できます。

●ためすすぎをする →P19

注水すすぎに比べ、すすぎ1回につき約33L節水できます。

●洗濯量に応じて水量を自動設定します。

16Lは自動設定しません。

水

●まとめ洗いをする

洗濯回数が減ります。

●軽い汚れの場合、洗剤量をいつもの半分にする →P9

汗やほこりのような脂分をほとんど含まない汚れ

●洗濯液を2度使う →P20

洗剤量2回分が1回分で済みます。

●洗剤を入れすぎない

おまかせで洗濯

標準コース

綿素材の下着など、普段着を洗濯したいとき

お急ぎコース

汚れの少ない衣類を手早く洗濯したいとき

念入りコース

がんこな汚れを洗濯したいとき

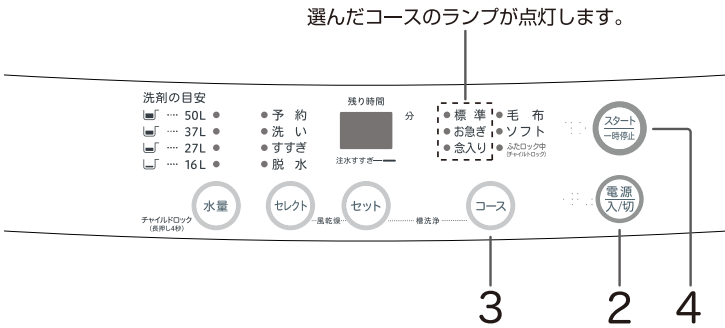
【洗濯できる量】

HYW-T55 → 5.5kg以下

HYW-T70 → 7.0kg以下

お知らせ

- 「ソフト」コースは、洗濯時間の短縮と洗濯液を衣類に吸収させるために少ない水量から「洗い」「すすぎ」が始まります。
- 洗剤は、入れすぎないようにしてください。泡が立ちすぎたり、すすぎが不十分になります。
- 運転終了後は、衣類のシワ付きや色移りを防ぐため、すぐに干しましょう。



- 1 水栓を開け、洗濯物を入れる
- 2 電源を入れる
- 3 「標準」または「お急ぎ」または「念入り」を選ぶ

- *「お急ぎ」コースは軽い汚れ専用のコースです。
- *10分洗濯
 - 10分洗濯をする場合は、洗濯量が1.0kg以下である必要があります。
 - 布量検知で1.0kg以下を検知すると水量が27Lに自動設定されます。
 - 布量検知のパラツキで27Lに設定されない場合には、洗濯容量が1.0kg以下を確認し、(→9ページ)水量ボタンを押し27Lに設定してください。
 - 手動で16Lに変更することができます。
 - 10分洗濯はすすぎ1回コースであり、必ずすすぎ1回推奨の洗剤をお使いください。
 - 汚れが気になる場合は、「標準」コースや「念入り」コースをご利用ください。

- 布量検知

4 スタートする

●検知中の表示

●水のない状態で、パルセーターが回転します。(布量の検知 →P12)

残り時間

分

注水すすぎ

5 検知後、水量・洗濯内容を表示

- 6 給水が始まってから洗剤を入れ、上ぶたを閉める

●洗剤の溶け残り防止のため、洗濯・脱水槽内に均等に入れてください。

●漂白剤・ソフト仕上剤 →P10

(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません)

- ブザーが鳴ったら、運転終了

●水栓を閉め、糸くずフィルターを掃除してください。

デリケートな衣類の洗濯

【ソフトコース】

衣類の縮みを防ぐためにやさしく洗います。「風乾燥」「予約」運転はできません。

洗えるもの(例)

- 取り扱い絵表示が、    のデリケートな衣類
- ウール、カシミア、アンゴラのセーター、カーディガンなど
- 絹、麻のワンピース、ブラウス、シャツなど
- 学生服、セーラー服、スラックス、スカート、ジャンパーカーテンなど

洗えないもの(例)

- 取り扱い絵表示が、     の衣類
- 芯地を多く使い、型くずれするもの
ネクタイ、ジャケット、スーツなど
- 水につけるだけで著しい収縮や変色、表面変化を起こすおそれのある素材や型くずれしやすいもの
レーヨン、キュプラ及びその混紡品、絹、ウールなどの中で強撚糸使いの生地、ジョーゼット、クレープ、ちりめんなど
- 毛倒れをするもの
ビロードなどのパイル地
- 表面の凹凸などが消えやすいもの
シワ、エンボス、樹脂加工品など
- 皮革、毛布、装飾品のついたもの
- 和服、和装小物
- 取り扱い絵表示がないもの、素材が不明なもの
- 色落ちしやすいもの
- 防水性のマット、シート、衣類など

洗濯前のチェック

初めて洗う衣類は、色落ちしないか確かめる

- 洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認してください。
- スカーフや外国製の衣類には色落ちしやすいものがあります。

シミや部分汚れがないか確かめる

- シミは裏側にタオルをあて洗剤液をつけ、一定方向にブラッシングしてください。
- ポケット周り・そで口・えり・すその汚れは、洗剤液をつけブラッシングなどで軽くたたいて落としてください。

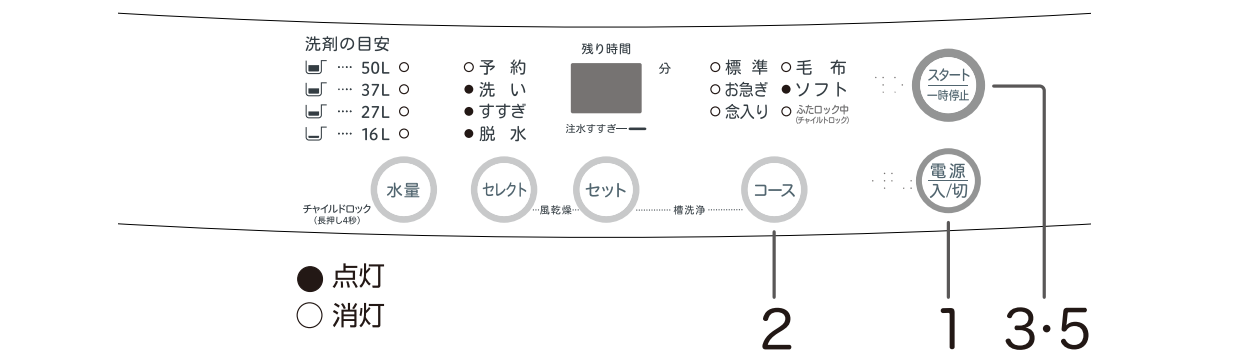
毛素材などでプリーツ加工のものは、開かないように糸で留める

- 糸は乾いてから取ってください。

カーテンなどの大物以外は、洗い時間を6分以内にする

- 自動設定は、6分になっています。(縮みをおさえるため)
- カーテンのフックは、必ずはずしてください。

ボタン・刺しゅうが付いている衣類は裏返す



洗濯できる量	水 量		水量について 水量は、37Lに自動設定されます。 機種によって左記の水量に変更することが できます。 16Lは設定できません。(傷み防止)	重さの目安  セーター 約 400g	 スラックス 約 400g	 ブラウス 約 200g
1.2kg 以下	55	70				
	50L	55L				
	37L					
0.5kg 以下	27L					

- 1**  水栓を開き、洗濯物を入れ、電源を入れる
 - 2**  上ぶたが閉まっていることを確認して「ドライ」を選ぶ
 - 3**  を押してスタートし、給水が止まったら、もう一度  を押して、運転を止める
 - 4** 上ぶたを開いて、液体中性洗剤を入れ、手で軽く混ぜる
 - 粉末中性洗剤は、ぬるま湯(約 30℃)でよく溶かして入れてください。
 - ドライマーク衣類を洗うときは、水温を 30℃以下にしてください。
 - ソフト仕上剤 ➡10 ページ
 - 上ぶたを開くタイミングにより、「ピピッ」音とともに  を表示する場合があります。お客さまの安全のため、運転中に上ぶたが開いたことを示す注意表示です。故障ではありません。次の手順のように上ぶたを閉めると運転を再開します。
 - 5**  洗濯物をたたんで水中に押し込み、上ぶたを閉めてから、再びスタートする
(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません)
- ブザーが鳴ったら、運転終了**
 - 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

お知らせ

- 洗濯時間の短縮と洗濯物に水を早く吸収させるために設定より少ない水量から「洗い」が始まります。
- 洗濯終了後、すぐに衣類を取り出してください。長時間放置するとシワや縮みの原因となります。

重さの目安

		
セーター 約 400g	スラックス 約 400g	ブラウス 約 200g

ワンポイント

干しかた

風通しの良い日陰に干してください。

- ウール、アンゴラ、カシミアなどのセーターは、**形を整え、裏返して平干し**
- 絹、麻などのブラウスやワンピースは、**ハンガー干し**
- スカートは、**型を整えてハンガー干し**
伸びやすいものは平干し
- スラックスは、**折り目を合わせてハンガー干し**

縮んだとき

- 1 伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打ちます。
- 2 スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをたっぷりかけた後、乾くまでそのままの状態にしておきます。

衣類購入時、型紙をとっておくと便利です。

毛布などの大物の洗濯

毛布コース

必ず、市販の大物洗い洗濯ネットをご使用ください。
ネットに入れずに洗濯すると、洗濯物が洗濯・脱水槽からはみ出し、擦れて洗濯物や本体を傷めたり、水が飛び散る恐れがあります。

洗える毛布

取り扱い絵表示が

- 手洗い30の
●アクリルまたはポリエステル100%のマイヤー・タフト毛布 シングルサイズ以下
140cm×200cm 以下
質量 3.0kg 以下
- 綿毛布
シングルサイズ以下
140cm×200cm 以下
質量 1.5kg 以下 (3枚まで)

●電気毛布・純毛の毛布は洗わないでください。
洗える電気毛布は、その説明書に従ってください。

洗えるふとん

取り扱い絵表示が

- 手洗い30の
●中わたがポリエステル100%の夏掛けふとん
大きさ 140cm×190cm 以下
中わた質量 0.7kg 以下
総質量 1.4kg 以下
- 洗濯機で洗えると記載されている羽毛掛けふとん
大きさ 150cm×210cm 以下
総質量 1.8kg 以下

洗濯できる量 (kg 以下)

毛 布 …………… 3.0 kg 以下
綿毛布 …………… 4.5 kg 以下
夏掛けふとん …… 1.4 kg 以下
羽毛掛けふとん… 1.8 kg 以下

洗濯前の準備

- ゴミや糸くずは、取り除いておきます。
- 綿毛布を2枚以上入れる場合は、重ねて折りたたんでください。

- 1 長い方を2つ折りにする
- 2 同じ方向に3つ折りにする
- 3 巻く
- 4 フチのある方を下に洗濯ネットに入れ、ひもを固く結んでリボン結びにする
※ファスナー式の場合はお買上の説明書に沿ってご利用下さい。

お知らせ

- 水量は最大水量に自動設定されます。37Lにのみ、変更することができます。
- 洗剤は、入れすぎないようにしてください。入れすぎると溶けずに残ることがあります。
- 夏掛けふとん・羽毛掛けふとんは、水に浮かないようにしてください。

洗濯が終わったら

取り出すときは

洗濯ネットのひもをほどこき、毛布などの中心部を持って引き出す

※ファスナー式の場合はお買上の説明書に沿ってご利用下さい。

乾燥は

風通しのよい日陰で自然乾燥、または毛布乾燥機能のある衣類乾燥機で乾燥する

- 毛布は生乾きのうちにブラッシングするときれいに仕上がります。
- 掛けふとん・綿毛布の乾燥は、その取り扱い表示に従ってください。

風乾燥をする

風乾燥コース

ヒーターを使わず高速回転で大量の風をとり込み、衣類の水分をとばす省エネ方式です。衣類をほぐすために定期的にかくはん運転をします。

風乾燥できるもの

- 化繊(1.5kg 以下)の衣類の乾燥

約3時間でほぼ乾燥できます。

※風乾燥のため、乾いていても衣類が冷たいので乾いていないように感じる場合があります。

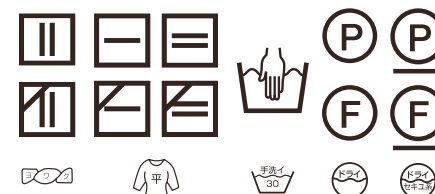
(例)



- 部屋干し時間を短縮したいとき

風乾燥できないもの

- 取り扱い絵表示が、下記の衣類

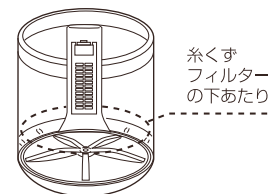


- 色落ちしやすい衣類
- ウールの衣類
- シワが気になる衣類 (綿100%シャツなど)
- 形態安定シャツ
- 型くずれしやすい衣類 (肩パット入りなど)
- 防水性のマット・シートや衣類など
- 毛布・掛けふとん・シーツ

洗濯できる量 化繊 1.5kg 以下

1.5kgの目安

脱水後の湿った衣類を軽く押さえて入れた状態



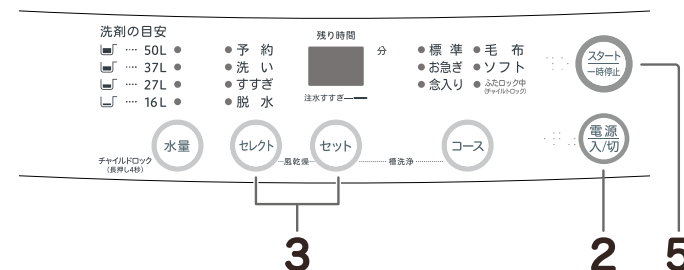
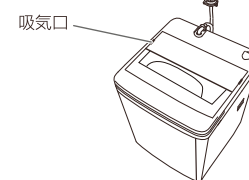
運転時間：3時間 (固定)



- 衣類の量・種類、気温、湿度、設置環境により仕上がり具合が変わります。乾きムラや乾燥不足のときは、再度その程度に応じて運転してください。
- 衣類の入れすぎは、乾燥不足や、シワ、衣類の飛び出しによる破れの原因となります。

お願い

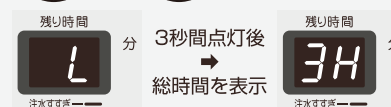
- 吸気口 (風乾燥用) の上に物を置かないでください。
- 定期的に吸気口をお手入れしてください。目詰まりすると「風乾燥」の性能が出なくなります。
- 色移りしやすい衣類は、一緒に乾燥しないでください。



1 水栓を開け、洗濯物を入れる

2 電源を入れる

3 セレクトとセットを同時に押す



4 上ぶたを閉める

5 スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉め、糸くずフィルターを掃除してください。

予約運転をする

運転の終了時間を予約できます。

予約待機中の 運転内容の確認	スタート1分以降に セレクトを押す
予約の取り消し	電源を切る
予約の変更	一度電源を切って 設定し直す

お願い

- 水栓からの水もれがないか確認してください。
- 衣類のシワ付き防止のため、運転終了後、すぐに干してください。
- 色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。

粉石けん

固まる場合があるので、使わないでください。

ソフト仕上剤

予約時は長時間放置するため、衣類の上にこぼした場合は、水洗いしてください。
落ちないときは、洗剤をつけてもみ洗いしてください。
(シミ・色落ち・傷みの原因)

漂白剤

酸素系をお使いください。塩素系は、変色や損傷の原因になるため、使わないでください。

お知らせ

- 終了時間は、水道水圧、排水条件などにより変わります。

1 水栓を開け、洗濯物を入れる

- 「毛布」コースでは、洗剤・洗濯物の入れ方が異なります。⇒P16

2 電源を入れる

3 コース 使用するコースを選ぶ

4 セレクト 「予約」を選ぶ

5 セット 今から何時間後に終了させたいか時間を選ぶ

- 最長24時間後までを1時間単位で予約できます。



6 スタート/一時停止 開始する

7 水量が表示されてから洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 漂白剤・ソフト仕上剤 ⇒P10
- 約 1 分後、予約ランプ以外が消灯します。
(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉め、糸くずフィルターを掃除してください。

運転内容をお好みで変更する

各コースの時間やすすぎ回数・方法などの運転内容を変更したり、「洗い」「すすぎ」「脱水」の行程を組み合わせた運転内容を設定することができます。
変更した内容は記憶しません。

洗い・すすぎ・脱水の内容変更

- コースによって変更できる内容が異なります。

洗い時間	すすぎ回数・方法	脱水時間
洗うもの(例)	「標準」「お急ぎ」「念入り」「毛布」「ソフト」	■「ソフト」は、1分～3分のみ 脱水するもの(例)
6分 9分	2回	4分 7分
10分 20分	注水2回	8分 9分
消灯 (0分)	3回	消灯 (0分)
1分 5分	注水3回	1分
	4回	2分 3分
	注水4回	
	注水4回	
	消灯 (0回)	
	1回	
	注水1回	

洗い・すすぎ・脱水の組み合わせ

- コースによって設定方法が異なります。

コース	設定方法
標準・念入り	セレクトを押して運転する行程を選び、セットを設定したい内容になるまで繰り返し押す
お急ぎ・毛布・ソフト	

〔設定例〕

1. 「毛布コース」で「洗い→脱水」の運転をしたいとき

コース「毛布」を選ぶ ➡ セレクトで「すすぎ」を選ぶ ➡ セットを「消灯(0回)」になるまで押す

予約時の洗剤の入れかた

液体洗剤

「液体洗剤・漂白剤注入口」に入れる

溶けやすくするため、洗剤と同量の水でうすめる



粉末合成洗剤

コンパクトタイプ

「洗剤投入トレイ」を開け、平らに入れる

- トレイがぬれていると洗剤がこびりつくので、あらかじめ乾いた布でふいてください。
- トレイの奥のすみには洗剤を入れないでください。洗剤が残ることがあります。
- 洗剤を入れた後、トレイは閉めないでください。(洗剤がこぼれます)

コンパクトタイプ以外

洗濯物に触れないように白物のハンカチなどに軽く包み、洗濯・脱水槽の周辺部に押し込む

(洗剤に含まれている蛍光剤による衣類の変色を防ぐためです)

4隅をつまむ



こんなときは

凍結の恐れがある

防止方法

その1 凍結防止（残水排水）を設定する

残っている水を運転が終了してから9分後に、自動で排水します。
設定すると運転終了後10分間 **UD** を表示します。

電源を入れ、**セット** を4秒以上押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定完了

解除

- 上記と同じように操作する
- 「ビピッ」と鳴り、解除完了

その2 給水ホース・排水ホースの水を抜く

- 1 水栓を閉め、電源を入れる
- 2 **コース** で「毛布」を選ぶ
- 3 **スタート一時停止** を押し、約30秒後に電源を切る
●給水ホース内の水を抜き、水圧を下げるためです。
- 4 給水ホースの水栓側を外し、バケツなどでホースから出る水を受ける
- 5 電源を入れ、**コース** で「標準」を選び、「脱水のみ」を約1分間運転し、残水を排水する

凍結したとき…

- 1 接続部を熱い蒸しタオルで包む
- 2 水栓を閉め、給水ホースを外し、お湯（50℃未満）につける
- 3 約2Lのお湯（50℃未満）を洗濯・脱水槽に入れ、約10分間放置する
- 4 給水ホースをつないで水栓を開け、次の内容を確認する
 - 手でバルセーターが回せるか
 - 運転して給水・排水するか

洗濯液を2度使いたい

下記手順とお好み設定 →P19をご覧ください。

1度目は汚れの少ないもので、汚れのひどいものは2度目に洗いましょう。

- 1 1度目の洗濯物を入れ、お好みのコースで「洗いのみ」運転をする

- 2 洗濯物を取り出し、2度目の洗濯物を入れる
●必要に応じて洗剤を追加します。

- 3 お好みのコースと水量を設定し、「洗い→すすぎ→脱水」をする
- 4 2度目の洗濯物を取り出し、1度目の洗濯物を戻す
●洗濯物は均等に入れてください。

- 5 お好みのコースと水量を設定し、「すすぎ→脱水」運転をする

終了ブザー音を消したい

運転開始時に **スタート一時停止** を約4秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定が完了すると、運転が終了しても終了ブザーが鳴りません。

運転途中で変更したい

- 水量は、すすぎ終了まで変更できます。
- 「洗い」ランプが点滅中は、**セレクト** を押しと注水すすぎ・ためすすぎの切り換えができます。

その他の変更は、電源を切り、再び「入」にしてから設定し直してください。

お手入れ

必要に応じて

本体

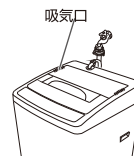
水滴・糸くず・汚れがついたら…

水、またはぬるま湯で湿らせたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤か石けん水をお使いください。



- 住宅用合成洗剤（マジックリンなど）・クレンザー・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。プラスチック部品を傷めます。
- 化学ぞうきんは、その注意書に従ってください。

- 洗濯・脱水槽の上部、上ぶた湿らせたやわらかい布で拭いてください。



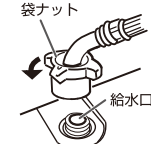
必要に応じて

給水口

水の出が悪くなったら…

- ご注意** 井戸水など是不純物が多くゴミがたまりやすいため、早めにお手入れをしてください。

- 1 **電源入切** 水栓を閉め、電源を入れる
- 2 **コース** 「毛布」を選ぶ
- 3 **スタート一時停止** スタートする
●ホース内の水圧を下げて水の飛び散りを防ぐため
- 4 約30秒後に、**電源入切** 電源を切る
- 5 袋ナットをゆるめて外し、給水口内のゴミを歯ブラシなどで取り除く

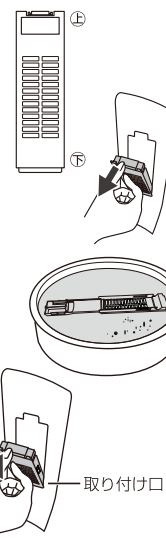


毎回

糸くずフィルター

目詰まりするとゴミが取れにくくなります。

- 1 上部にあるつまみを下に押さえながら、上側を手前に引いてはずす
- 2 糸くずフィルターを開け、ゴミを取り除いてから水中で洗い、閉める
- 3 糸くずフィルターの下部を槽内の取り付け口に差し込んでから全体を押し込む



お知らせ

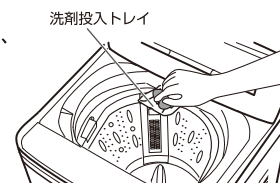
- 糸くずフィルターは、必ず取り付けて洗濯してください。（衣類が傷むおそれがあります）
- 消耗品のため、破損したときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

必要に応じて

洗剤投入トレイ

柔らかい布でふき取る

- こびりつきがひどいときは、ホースで水をかけながらふき取ってください。

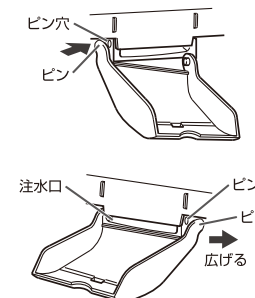


ご注意

トレイを手前に倒した状態で無理な力を加えないでください。（外れる恐れ）

外れたとき

- 1 洗剤投入トレイの左側のピンを注水口のピン穴に差し込む
- 2 右側のピン部を広げながら、ピンをピン穴に差し込む



お願い

トレイを使用しないときは、必ず閉めた状態にしてください。

お手入れ(続き)

必要に応じて

洗濯・脱水槽

石けんカス

長期間の使用で、石けんカス（黒いもやもやとしたもの）が発生し、洗濯物に付くことがあります。
洗剤の入れすぎや溶かし不足の状態では洗濯を繰り返すと石けんカスを発生させ衣類を汚す原因になります。
●湿気の多い場所では上ぶたを開け、できるだけ内部の水分を蒸発させて石けんカスのカビなどを防ぎましょう。

さび

赤さびの混じった水やヘアピンなど、さびやすいものを入れたり、長時間水を入れたまま放置するとさびの原因になります。
さびがついたら
やわらかい布かスポンジに、市販のクリームクレンザーをつけてさびをふき取ってください。
●金属たわしなどは、洗濯・脱水槽を傷めるので使わないでください。

槽洗浄コース

市販の洗濯槽クリーナーを使用する例です。洗濯物はいれないでください。

洗剤の目安

残り時間

水量

セレクト

セット

コース

スタート一時停止

電源入/切

所要時間

約1時間45分

運転前後に行うこと

運転前

運転後

お知らせ

●水量の切り換え・お好みの設定・予約運転・風乾燥はできません。
●水量は最大水位に自動設定されます。

ご注意

24時間以上、洗浄液を入れたまま放置しないでください。故障の原因となります。

1 水栓を開ける

2 電源を入れる

3 セットとコースを同時に押す

4 上ぶたを開け、スタートする

5 「ピピッ」と鳴り、E4の表示が出て、給水が止まります、洗濯槽クリーナー（1.5L）を入れ、上ぶたを閉める

洗濯槽クリーナーを混ぜるために数分かくはんし、その後、「約 1 時間 25 分」つけおき洗いをします。（上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません）

ブザーが鳴ったら、運転終了

●水栓を閉め、糸くずフィルターを掃除してください。

据え付け

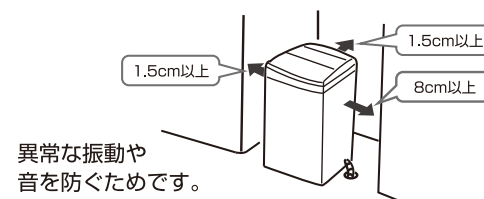
- 据え付け前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 据え付け後は、必ず試運転をしてください。

本体の設置

警告

浴室や風雨にさらされる場所、湿気の多い場所には据え付けない（感電・火災・故障・変形の原因）

本体は排水ホース側が壁から 8cm 以上、反対側および裏側は壁から 1.5cm 以上離す



異常な振動や音を防ぐためです。

しっかりした水平な床に据え付ける

傾斜した床や弱い床、不安定な台の上は振動や騒音が大きくなります。

洗濯機トレーの使用をおすすめします

気温と水温の差が大きいと本体の内側に結露（露つき）が生じます。この結露や万一の水はねで床面をぬらすことを防止するためです。



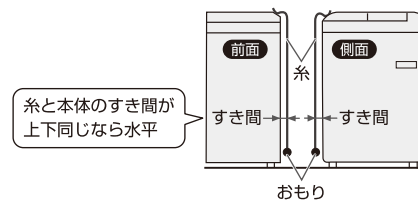
■次のような場所には、設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所（プラスチック部品の変色や変形の原因となります）
- 冬期に凍結の恐れのある場所
- 平らでない床・弱い床・不安定な床の上（床が弱いときはお買い上げの販売店にご相談ください）
- 高い置台の上（底部と床の隙間から、お子さまなどが手を入れ、けがをする原因となります）
- 包装用台座は、据え付け台として使わない（本体故障の原因となります）

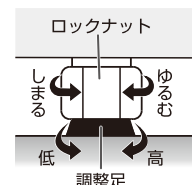
水平の確認と調整

1 水準器で水平度を確認する

- 水準器がない場合は、おもり（5 円玉など）を付けた糸を図のように下げ、前面と側面の水平度を確認してください。



2 水平でないときは、前面右足のロックナットをゆるめ、調整足を回して調整する



3 調整後、ロックナットを回して、しっかり締め付ける

4 本体の対角（右前と左後、または左前と右後）を押さえて、ガタつきがないか確認する



お知らせ

水平に設置できていないと本体の移動・異常振動・騒音・故障の原因となります。必ず調整足で水平になるよう調整してください。

傾斜した床面・凹凸のある床面に設置する場合

市販の洗濯機用高さ調節ゴム（脚）をお買い求めのうえ、水平になるよう調整してください。

据え付け(続き)

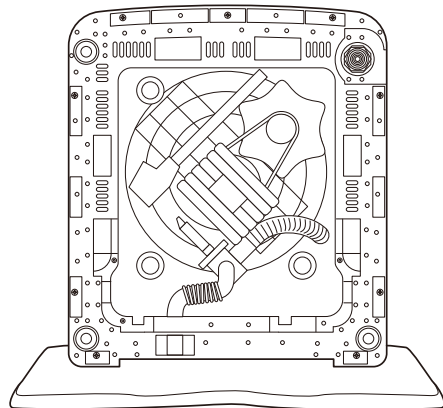
底カバーの取り付け

注意

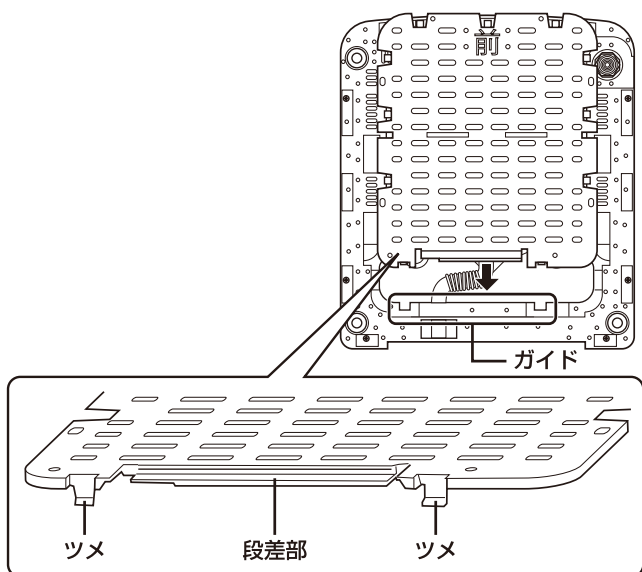


- 洗濯機の底部から内部への侵入を防ぐために、付属の底カバーを取り付ける
例えば、四隅の高い防水パンに設置する場合、必ず底カバーを取り付けてください。
回転部などで手足のけがや感電をする原因となります。
- 作業は、給水ホース、排水ホースおよび電源コードを接続する前に行う
- 作業の際は、必ず手袋を使用する
手袋なしでの作業は、けがをする原因となります。

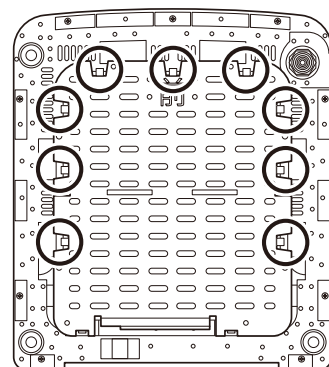
- 1 毛布などを敷き、本体を後側へ静かに倒す
(上ぶたが開かないように養生テープなどで固定する)
残り水が出る場合がありますので、注意してください。



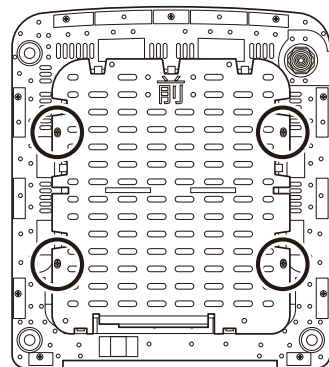
- 2 底カバーの「前」の刻印がある面を上にし、
底カバーの段差部とツメ(2か所)を本体の
ガイドに差し込む



- 3 本体のツメ穴に底カバーのツメ(9か所)を、
パチンと音がするまで奥に差し込む
ツメが正しく挿入されているか確認してください。



- 4 ネジ4本(付属)で底カバーを固定する



- 5 本体をゆっくり起こす
水が出る場合がありますので、注意してください。

取り付けなくてよい場合でも、引っ越しなどで
必要になる場合がありますので、底カバーは
大切に保管してください。

排水ホースの取り付け

- ご注意** 本体内部の排水ホースは変更しないでください。変更した場合、保証は致しかねます。

取り付けかた

警告

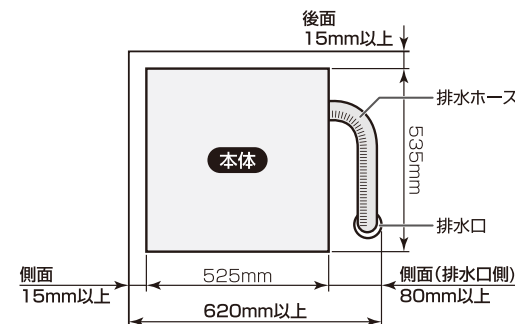


けがを防ぐために、取り付け作業は必ず
手袋を着用してください。

- ご注意** 電源プラグをコンセントから抜き、作業を
確実に行ってください。正しく取り付けな
いと、水もれの原因となります。

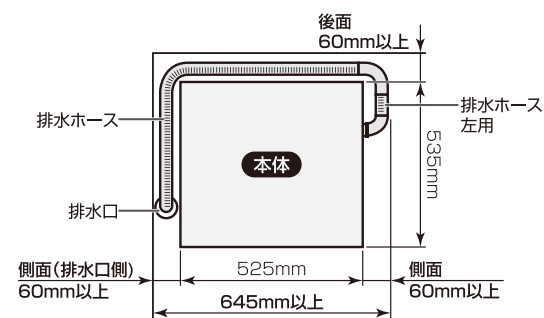
排水口が本体の右側にある場合

本体周囲には、以下のスペースを確保してください。

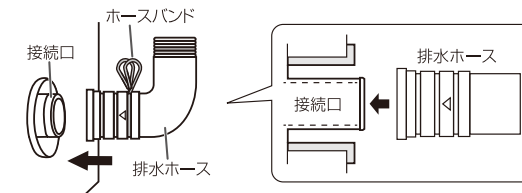


排水口が本体の左側にある場合

本体周囲には、以下のスペースを確保してください。
(下図は本体の右側に排水口がある場合)

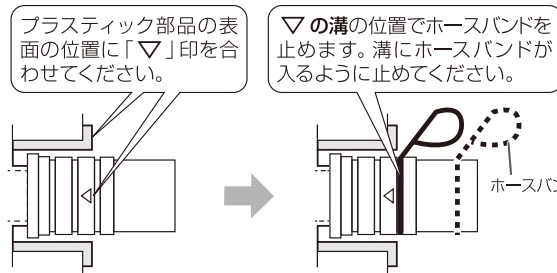


- 1 排水ホースを接続口にさし込む



- お願い**
- ・ホースの抜け防止用の凸部が接続口にあるので強く押し込んでください。
 - ・前に製品を傾けて排水ホースを取り付け、排水ホースが少し下向きになるようにしてください。

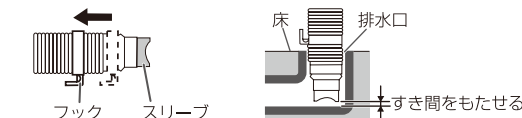
- 2 排水ホースを「▽」印まで差し込み、
ホースバンドを止める



取り付け後、ジャバラ部を引っばって抜けないか確認してください。

- 3 フックをずらし、排水口に差し込む

スリーブは、ホース先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。必ず取り付けでご使用ください。



排水ホースは排水時の水の力や振動などで動く場合があるため、排水口にしっかり差し込み、抜けないことを確認してください。

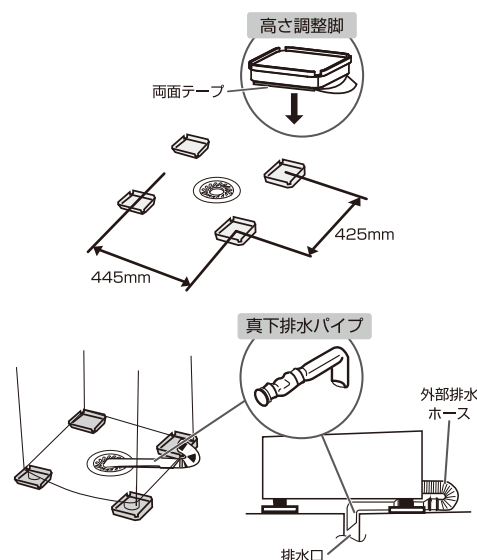
据え付け(続き)

排水ホースの取り付け

排水口が本体の下にくる場合

市販の真下排水パイプと高さ調節脚をお買い求めください。

- 高さ調節脚の両面テープのシールをはがし、床面、または防水パンに固定してください。
- 接着する面の水・ほこりなどはきれいにふき取ってください。



- 取り付け方法は、真下排水パイプの説明書に従ってください。

ご注意

- 必ず高さ調節脚を敷いてください。洗濯機が真下排水パイプに乗り上げて異常振動したり、破れて水もれする恐れがあります。
- 内部排水ホースは直接排水口に入れないでください。(ホースの破れ・水もれ・異常音の原因)

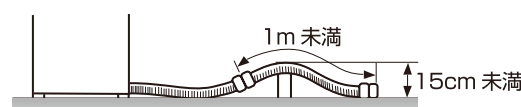


排水ホースを延長する場合

お買い上げの販売店にご相談のうえ、延長用排水ホースをお買い求めください。

排水ホースを延長する場合や敷居を越える場合の高さは、下表に従ってください。

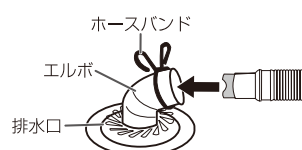
延長ホースの状態	延長ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	15cm 未満	1m 未満
途中で高くない場合	—	3m 未満



排水ホースを延長し、通路または扉周辺などの排水ホースに外力がかかる場所を通すと、洗濯機から排水ホースが抜け水漏れとなる場合があります。洗濯機からの振動が伝わらない位置で排水ホースを固定するなど、直接、洗濯機接続部に力がかからないように設置してください。(詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。)

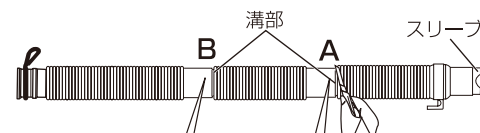
排水口がエルボの場合

排水ホース先端部をエルボにしっかり差し込み、ホースバンドで確実に固定する



※エルボにホースがついていない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

排水ホースが長すぎる場合



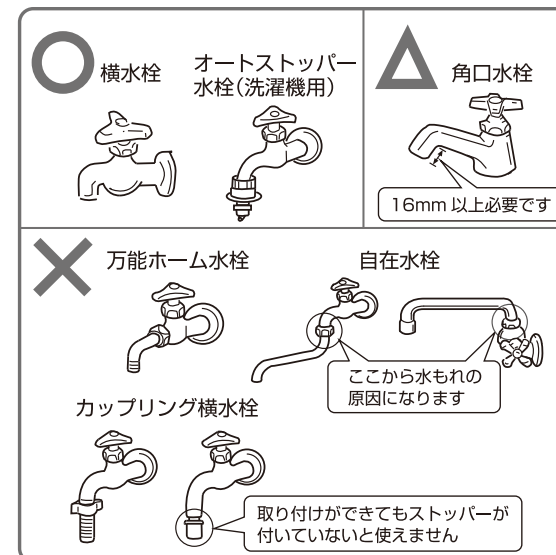
本体と排水口の距離に応じて、溝部2ヶ所A・Bのうち、どちらかの溝部を切って先端にスリーブをはめ直してください。

マジックつぎ手と給水ホースの取り付け

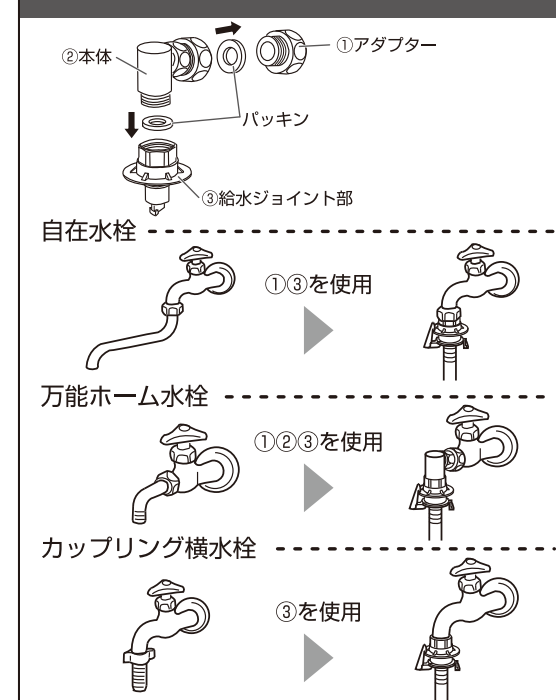
- マジックつぎ手・給水ホースは、付属品を使用してください。確実に取り付けないと、水もれの原因になります。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、マジックつぎ手や給水口より水もれがないか確認してください。

水栓の形状を確認する

水栓が合わないときは、お買い上げの販売店、水道工事ににご相談ください。



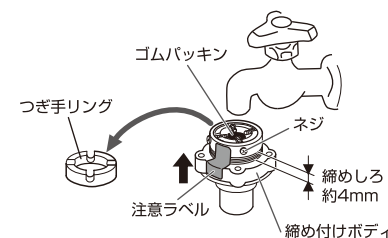
給水栓ジョイントをご使用ください。



※給水栓ジョイント・分岐水栓は、蛇口の形態により取り付けできない場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

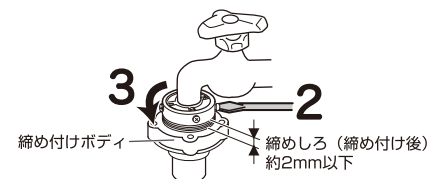
マジックつぎ手を取り付ける

- 1 ネジ(4本)をゆるめ、マジックつぎ手のゴムパッキンと水栓の先端を垂直に押し当てる
 - 水栓の径が大きいときは、つぎ手リングははずしてください。
 - 注意ラベルは、締め付けボディをゆるめた状態で貼ってあります。水栓にマジックつぎ手をネジで締め付けるまでは、はがさないでください。



- 2 水栓の先端がマジックつぎ手の中心になるようにネジを均等にしっかり締め付ける
 - 壁側になるネジは前もって調整しておくとう便利です。

- 3 注意ラベルをはがし、締め付けボディを矢印方向へ回して、締めしろが約 2mm 以下になるまで強く締め付ける
 - 強く締め付けると水もれする恐れがあります。



ご注意

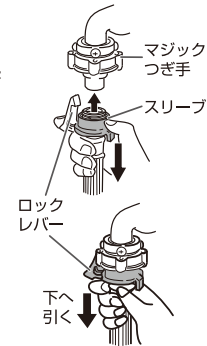
- 取り付けかた・転居の際の取り換え・長期間の使用でゆるみが生じたなどで、水もれする場合
 - ⇒ 1 図のように締めしろを約 4mm にゆるめてから、取り付け直してください。
- パッキンに蛇口の形が付いていたり、劣化している場合
 - ⇒ マジックつぎ手を取り換えてください。
- 転居や取り付け直したときは、特にご注意ください。
- 今までお使いのマジックつぎ手があっても、必ず新品と取り換えてください。

据え付け(続き)

給水ホースを取り付ける

水栓側

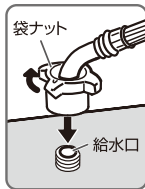
- 1 スリーブを引き下げたままでマジックつぎ手に差し込む
- 2 スリーブをはなし、「パチン」と音がするまで差し込む
- 3 ロックレバーがかかっているのを確認した後、ホースを下へ引き、完全に取り付けができていないか確認する



ロックレバーと本体が接触しない位置で取り付けてください。
(水もれの恐れ)

本体側

袋ナットを給水口に押し当て、傾きのないよう確実に締め付ける



ご注意

転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。
確実に締め付けてください。

アース (アース工事は有料です)

警告

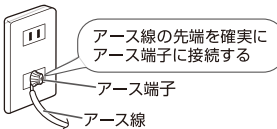


万一の感電防止のため、アース線を必ず確実に取り付ける

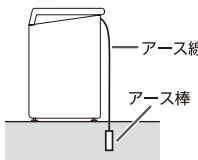
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
また、漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。
(詳しくはお買い上げの販売店、または電気工事店にご相談ください)

- アースの付け外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 設置場所の変更や転居の際にも、必ずアースを取り付けてください。

コンセントにアース端子がある場合



コンセントにアース端子がない場合



法令により電気工事士によるD種接地工事が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

お願い

ガス管、電話線や避雷針、水道管には接続しないでください。
(法令などで禁止されています)

給水ホースを外すとき

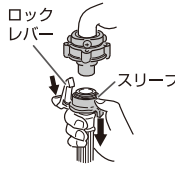
- 1 水栓を閉め、電源を入れ (コース) で「毛布」を選ぶ

- 2 (スタート/一時停止) スタートする

- ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

- 3 約 30 秒後に、(電源/入切) 電源を切る

- 4 (水栓側) ロックレバーを押し、スリーブを引き下げてホースを外し、バケツなどでホースから出る水を受ける



- (本体側) 袋ナットをゆるめて外す



給水ホースの延長

お買い上げの販売店にご相談のうえ、延長用給水ホースをお買い求めください。

試運転

次の手順で試運転をして水もれ、給水・排水の不具合、異常音や異常振動がないことを確認してください。

- 1 水栓を開け、(電源/入切) 電源を入れる

- 2 (コース) 「毛布」を選ぶ

- 3 (セレクト) 「すすぎ」を選び、
(セット) 「消灯(0回)」を設定する

- 4 上ぶたを閉め、(スタート/一時停止) スタートする

- 洗いの間に、水もれがないことを確認する
- 脱水の間に、異常音や異常振動がないことを確認する

- 5 運転が終了すれば、水栓を閉める

故障かな?と思ったら

症 状		考えられる原因・処置方法
本 体	運転しない	■電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでいますか。 ■電源が入っていますか。 ■「スタート/一時停止」を押しましたか。 ■予約中ではないですか。 ■上ぶたが閉まっていますか。 ■水栓が開いていますか。 ■停電していませんか。 ■ご家庭のヒューズブレーカーが切れていませんか。
	運転中や電源スイッチを切っても操作パネル部が熱を持っている	■部品の放熱作用によるものです。
洗 い ・ す す ぎ	給水前にパルセーターが回転する	■洗濯量を検知しているためです。(→P12)
	途中で給水する	■水量や洗濯物の状態を検知し、うまく洗濯できるように補給水機能がはたらいた為です。 ・洗濯物を後から追加した。 ・水量が減り、それを自動的に補う機能がはたらいた。 ・洗濯物の布回りをよくする機能がはたらいた。
	注水すすぎなのに排水ホースから水が流れ出ていない	■水圧が低いときや設定水量が低いときは、排水しないことがあります。
	注水すすぎなのにためすすぎになる	■給水量が多い場合は、洗濯・脱水槽からあふれるのを防ぐため、ためすすぎになります。
脱 水	すすぎからスタートすると水が給水されない	■排水→脱水してから、すすぎの給水を始めます。
	洗い後の脱水途中でためすすぎが追加される(給水する)	■洗剤量が多すぎたり、排水ホースの途中が高くなるなど排水状態が悪く、うまく脱水できない(脱水の回転が上がらない)ときは、ためすすぎを追加します。

故障かな?と思ったら(続き)

症 状		考えられる原因・処置方法
脱 水	始めから高速で脱水しない	■脱水を効果的に行うために、徐々に回転を上げる運転をします。
	脱水の途中ですすぎになる(給水する)	■洗濯物が片寄ると、片寄りを修正するためにすすぎを行い、再度脱水をします。
風 乾 燥	乾きが悪い	■衣類の種類 量・室温・湿度などにより乾燥状態が変わります。 ■3時間固定のため、乾きに関係なく終了します。乾き不足時は、追加乾燥してください。(→P17)
	運転が終了しても乾いていない	■化繊の衣類を1.5kg以下にしてください。少なめにすると、風乾燥の効果が上がります。 ■脱水が不十分な衣類や化繊以外の衣類が混ざっていませんか。
水 量	洗濯物の量に対する水量の表示がおかしい	■水量は、洗濯量で決まります。化繊など軽いものが多いときに少なかったり、洗濯物が最初からぬれていると多く表示することがありますが、故障ではありません。(→P12)
	同じ量を洗っているのに水量表示が違ふことがある	
時 間	すすぎ前の排水・脱水時間が長い	■泡立ちをおさえ、すすぎ性能を良くするため、すすぎ前の排水・脱水を長くしています。
	洗濯時間が長い	■所要時間は、給水量毎分15Lで計算しています。15L以下であれば、長くなります。あらかじめ水が入っているときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わる場合があります。 ■所要時間は、水道水圧・排水・脱水状態により変わることがあります。
	残時間表示が途中で変わる	
音	運転終了後に「ジー」と音がする	■凍結防止(残水排水)を設定していませんか。排水バルブの作動音です。(→P20)
	洗濯・脱水槽をゆらすと「シャー」「チャプチャプ」と音がする	■脱水の振動を抑えるために洗濯・脱水槽の上部に入れてある液体の音です。

症 状		考えられる原因・処置方法
臭 い	異臭がする	■排水口にたまった汚れの臭いが逆流することがあります。集合住宅などで排水口に臭気防止用トラップがない場合は、本体・洗濯物に臭いがつくことがあります。 【処置】 ☐ 定期的に排水口を掃除してください。 ☐ 臭気防止用トラップがない場合は、トラップを設置してください。 ■洗濯・脱水槽内に付着している石けんカス・黒カビなどで臭いが発生する場合があります。 【処置】 ☐ 洗濯槽クリーナーで洗濯・脱水槽の洗浄をしてください。普段使わないときは、上ぶたを開放し風通しをよくしてください。
そ の 他	据え付け時や初めて使用するとき排水ホース接続口から水が出る	■工場での性能テスト時の残水で故障や不良ではありません。
	衣類が黄変する	■水道水のサビ、粉石けんや洗剤の残り、色移りなどにより、乾燥後に黄変することがあります。塩素系漂白剤・還元型漂白剤をご使用ください。
	糸くずの付着が気になる	■すすぎ回数を増やしたり、注水すすぎをおすすめします。 ■水量を多めに設定してください。 ■糸くずフィルターを掃除してください。
	洗濯の途中なのに運転が止まってしまった	■上ぶたが閉まっていますか。 ■脱水時に洗濯・脱水槽の中で洗濯物が片寄っていませんか。 ■お好み設定方法を間違えていませんか。 ■洗濯槽洗浄中ではありませんか。

以上の原因でないときは、こんな表示がでたら(→P32)をご確認のうえ、お買い上げの販売店またはカスタマーサポートにご相談ください。

こんな表示がでたら

表 示	調べるところ	処置
E1 給水しない	■水栓が開いていますか。 ■給水口の網にゴミなどが詰まっていませんか。(→P21) ■凍結していませんか。(→P20) ■断水していませんか。 ■井戸水を使っていませんか。	スタート 一時停止 一時停止する ▼ 点検・確認 ▼ スタート 一時停止 再スタートする
E2 排水しない	■排水ホースの確認(→P26) ・倒し忘れたり、つぶれていませんか。 ・途中15cm以上、高くなっていませんか。 ・排水口がふさがれていませんか。 ■排水口(フィルターやトラップ部)に糸くずが詰まっていませんか。	
E3 脱水しない	■洗濯物が片寄っていませんか。 ■本体が傾いたり、ガタついていませんか。(→P23)	
E4 運転しない (一時停止している)	■上ふたが開いていませんか。	上ふたを閉める
Ud 運転後表示する	■凍結防止(残水排水)設定をしていませんか。	→P20
EA EC	■制御部品の点検や修理に調整が必要です。 電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めて早めにお買い上げの販売店・カスタマーサポートに連絡し点検・修理を依頼してください。	

製品仕様

種 類	全自動電気洗濯機
洗 濯 方 式	うず巻式
外 形 寸 法	幅565×奥行534×高さ835(mm)
製 品 質 量	30kg
水 道 水 圧	0.03～0.8MPa(0.3～8kgf/cm2)
電 源	100V 50Hz/60Hz共用

品 番	HYW-T55	HYW-T70
標 準 洗 濯 容 量 標 準 脱 水 容 量 (乾燥時の布質量)	5.5kg	7.0kg
標 準 水 量	50L	55L
標 準 使 用 水 量 (シャワーすすぎ+ためすすぎ1回)	120L	130L
定 格 消 費 電 力	370/430W (50/60Hz)	390/470W (50/60Hz)

- 待機時消費電力(電源スイッチを切にした状態の電力)は、0(ゼロ)です。
- 標準洗濯・脱水容量は、JIS(日本産業規格)で規定された布地で乾燥状態の場合です。
- 製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

MADE IN CHINA

保証とアフターサービス

保証書(裏表紙)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りいただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
【保証期間 お買い上げ日から本体1年間】

修理を依頼されるとき

29～31ページの表に従ってご確認ください。それでも異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買上の販売店またはカスタマーサポートへご連絡下さい。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。弊社は、この洗濯機の補修用性能部品を製造打切後6年保有しております。
(注:補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)この期間はやむ得ない状況によって変わる事もあります。

お取り扱い・修理・ご相談・アフターサービスについて

お買上の販売店またはカスタマーサポートまでお問合せ下さい。

【企画販売元】
ハート電機サービス株式会社
<https://heartdenki.co.jp>



【お問い合わせ窓口】
カスタマーサポート
TEL:0120-810-552(ハートここに)
(受付時間:9:00-17:00 土日祝を除く)

※上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

カスタマーサポートにおける個人情報のお取り扱いについて

カスタマーサポートでお受けしたお客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り第三者への開示は行いません。
(業務委託の場合および法令に基づき、必要とされる場合を除く。)
カスタマーサポートでお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。
なお、この目的のためにハート電機サービス株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては弊社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

定期的な安全点検について

長年ご使用の製品の点検を!

定期的に「安全上のご注意」を確認してお使い下さい。
誤った使い方や長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

愛情点検



長年ご使用の『全自動電気洗濯機』の点検を!

このような症状はありませんか?

下記のような症状のときは、ご使用を中止し、事故防止のため電源プラグを抜いて、必ず販売店またはカスタマーサポートへご相談下さい。

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。
- 電源プラグ・電源コードに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。
- 洗濯・脱水槽が止まりにくい。
- 水もれがする。(ホース、マジックつぎ手)
- こげくさい臭いや運転中に異常な音や振動がする。
- 本体にさわるとビリビリ電気を感ずる。
- その他の異常・故障がある。

●電源プラグにほこりやごみがたまっている。▶ ほこりやごみを取り除いてください。

廃棄時

家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

長期使用製品安全表示制度に基づく 本体表示について

本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右ページの表示を本体に行っています。

設計上の標準使用期間とは

運転時間や温湿度など、右ページの標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。
また、一般的な故障を保証するものではありません。
設置状況や環境、使用頻度が右記の条件と異なる場合、
または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、
7年より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。



設計上の標準使用期間 7年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

標準的な使用条件

区 分	項 目	条 件
環境条件	電 圧	単相100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温 度	20℃
	湿 度	65%
	設置条件	P23～P28の記載内容による標準設置
負荷条件	負 荷	5.5kg/7.0kg
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03～0.8MPa
	給湯・給水	20℃±15℃
使用時間 及び回数	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	48分
	1年間の使用日数	365日



この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質^{【注1】}を含有していません^{【注2】}。
(JIS C0950の電気・電子製品の特定の化学物質の含有表示方法に従って表示しております)

【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」及び「ポリブロモジフェニールエーテル」の6種類の化学物質。

【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。
また、除外項目は対象としておりません。

MEMO

ヨドバシカメラ
www.yodobashi.com